

学ポタを見える化する



履修DB-α

ご案内資料

「学ポタ」とは学業場面に表れるポータブルスキルです
社会の変遷により学ポタの確認が広がります

目次

1 履修DB-α・学ポタ面接とは？

2 新たな面接法が必要になった社会変遷

3 学ポタ面接の効果

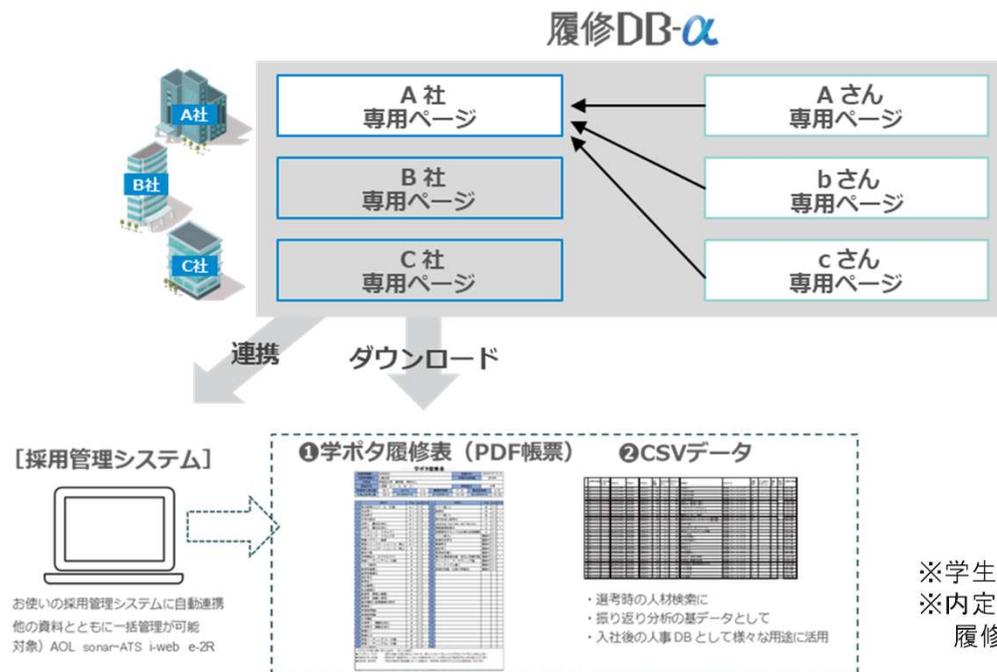
4 面接手順

5 導入までの流れ

6 よくある質問

履修DB- α ・学ポタ面接とは

履修DB-αとは、学生が自分の履修履歴と**学ポタ**(学業場面に表れるポータブルスキル)を登録し応募企業に送信するサービスです。



- ・応募企業から提出依頼を受けた学生は、URLからID発行→ログイン→登録→データ送信を行います
- ・登録した履修履歴と学ポタは面接で活用する帳票「学ポタ履修表」に記載されます
- ・採用管理システムのAOL、sonar ATS、i-web、e-2Rと自動連携が可能で手間はかかりません
- ・CSVデータとして管理が可能のため、振り返り分析や入社後の人事データとして活用できます

※学生の登録は 15 分～ 30 分で簡単にできますので応募数が下がった例は報告されていません
 ※内定後に成績証明書を提出させることで虚偽の申告を防止できます。
 履修DB-αで添付させることも可能です。

(株)履修データセンターとは

設立目的・経緯

NPO法人「大学教育と就職活動のねじれを直し、大学生の就業力を向上させる会」を母体とし、その活動を推進するために2014年に設立

事業内容

- ・収益事業: 履修DB-αの企画・開発・運営
- ・公益目的事業: マスデータの提供

- * 採用時の学業行動への着目を推進する
- * 履修DB-αを通じて集まった膨大なデータを一社で独占することなく、社会に広く利用させるために個人ID等を隠し全体データをマスデータとして無償で提供

※無償提供の理由: 個人情報の保護、大学等への学びを阻害への防止、多様なサービスの参入をするためには、社会全体からのチェックを前提にして無償提供することが設立の理念にあっていると考えるため

新たな面接法が必要になった 社会変遷

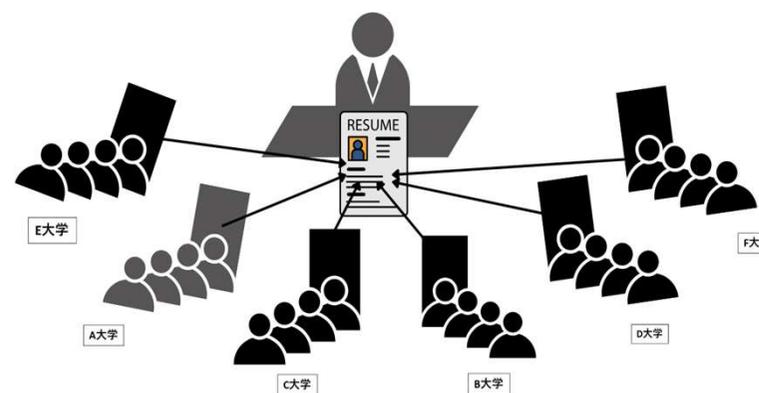
1990年代後半、指定校制度の禁止に伴い すべての大学に対応できる質問が必要になりました

～1990年代後半
指定校制度



特定の大学・学部・ゼミの学生のみ
なので選考は簡単

1990年代後半～
指定校制度の禁止後



全ての大学・学部から応募が可能に



全学生に対応できる共通の質問が必要に

当時は出席管理が緩く自由な時間が多かったので
ガクチカ・自己PRが共通の質問として合理的でした

サークルの為だけに通学



学生 a 君

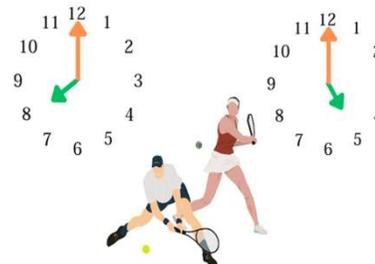
週2日のみ授業で、
あとはアルバイト

S	バイト
M	授業
T	バイト
W	バイト
T	授業
F	バイト
S	バイト



学生 b さん

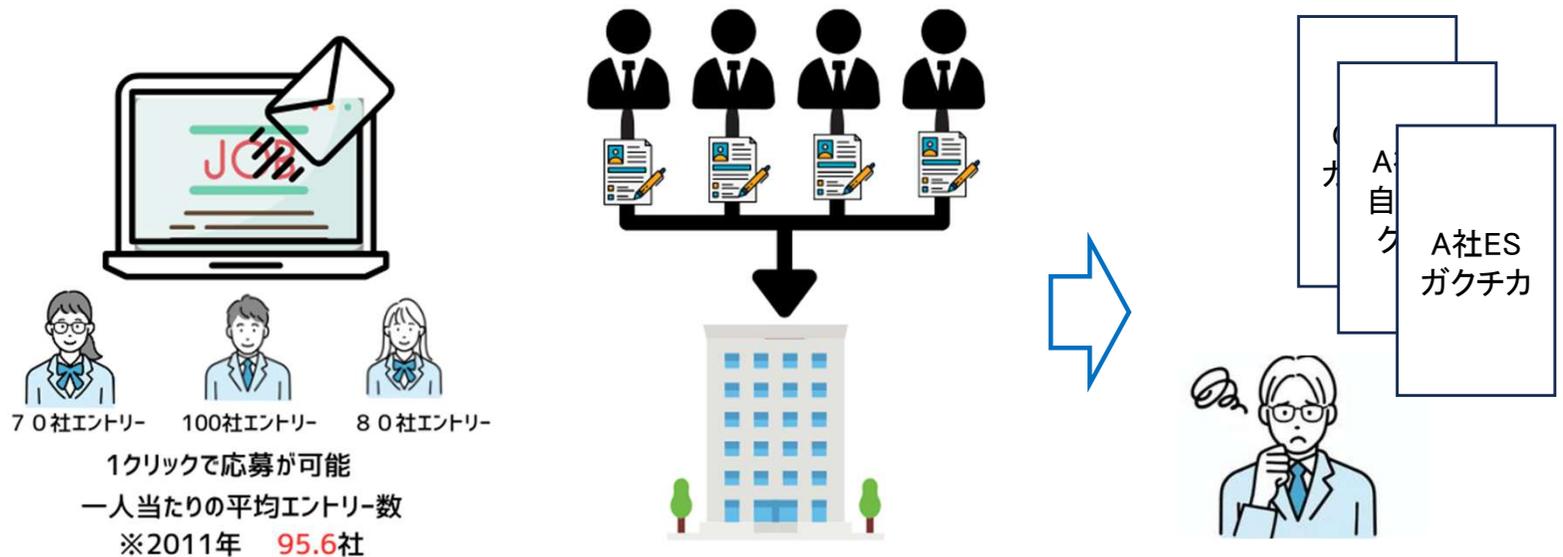
体育会で
朝から晩まで練習



学生 c 君

本人に力を入れた場面とアピールできる行動を自分で選ばせて、
真偽・レベルはエピソードで判断

2000年前後の就職サイトの広がり ガクチカ・自己PRの準備が必須になり脚色が増えました



※株式会社文化放送キャリアパートナーズ
レエントリー平均社数2020年6月調査

どの会社もESはガクチカ
エピソードのインパクト重要
凄い成果なんてない
ばれない脚色ならOK

数年前から 大学では授業出席が厳正化され エピソードの脚色が加速し学生の常識になりました

数年前以前

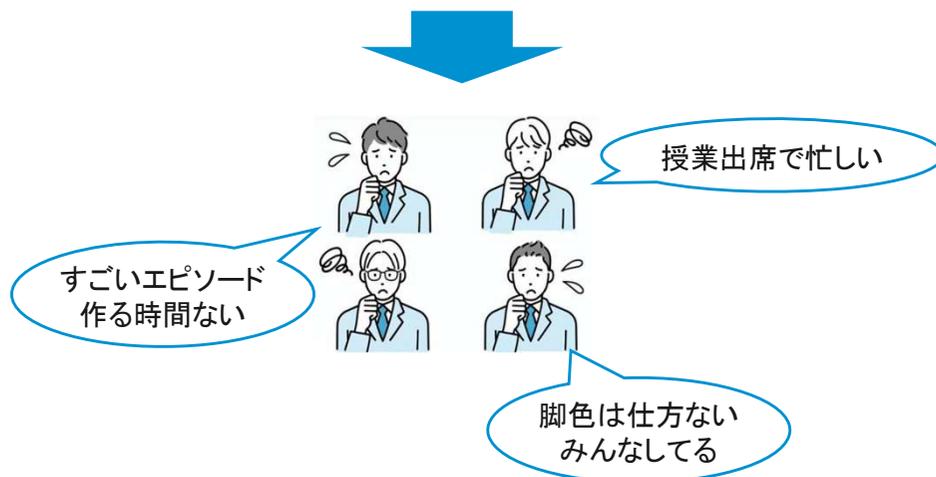


現在

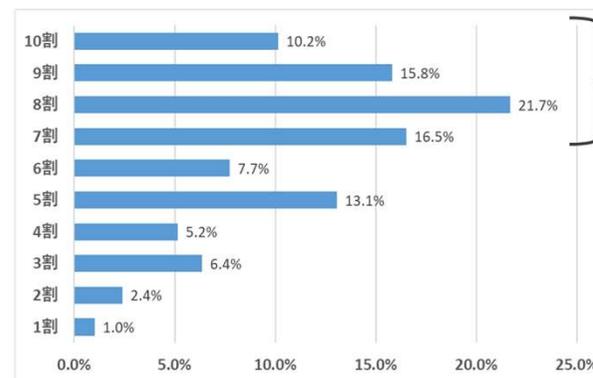


出席管理の厳正化

学業が最も長い時間に変化



質問: 就活で話す具体的エピソードを脚色している学生は何割くらいだと思いますか?



全体のうち65%が「7割以上の人が脚色している」と回答

2024年4月実施の25卒学生600名に対する自社アンケート

さらに生成AIの出現で 客観的事実のないエピソードでの 真偽・レベルの確認は意味をなさなくなりました

生成AIサービスを活用した虚偽エピソード作成の実例

生成AIへの指示:「飲食店での架空のアルバイト経験で企業にアピールできそうなエピソード作って」

回答

もちろんです！以下に、飲食店での架空のアルバイト経験をもとに、企業にアピールできそうなエピソードを作成しました。

エピソード: 繁忙期の効率的なオペレーション改善

背景: 大学在学中に地元の人気レストランでアルバイトをしていました。特に週末やイベントシーズンには、客数が急増し業務が一時的にパンクすることが課題となっていました。

アクション: そこで私は、店長と相談し、繁忙期の業務効率を向上させるための具体的な改善策を提案し、実行に移しました。以下のステップで改善を行いました。

1. **タスクの最適化:** 各スタッフの役割を再評価し、調理、配膳、清掃などのタスクを効率よく分担する新しいシフト体制を導入しました。
2. **トレーニングプログラムの実施:** 新人スタッフ向けのトレーニングプログラムを策定し、実施することで、スタッフ全体のスキルレベルを底上げしました。
3. **リアルタイムフィードバックシステムの導入:** 業務中におけるスタッフ間のコミュニケーションを強化するため、無線機を導入し、リアルタイムでのフィードバックと指示出しを行いました。
4. **顧客サービスの向上:** 顧客アンケートを実施し、サービス改善のフィードバックを収集しました。その結果を基に、接客マニュアルを改善し、顧客満足度の向上を図りました。
5. **在庫管理の効率化:** デジタル在庫管理システムを導入し、食材の在庫状況をリアルタイムで把握できるようにしました。これにより、無駄を減らし、効率的な発注が可能となりました。

成果: これらの改善策を実施した結果、繁忙期における顧客の待ち時間が平均して10分短縮され、顧客満足度が大幅に向上しました。また、売上も前年同期比で15%増加し、スタッフの作業効率も大幅に改善



誰でも 手軽に 多数のエピソードを 創作できる

新たな面接法の必要性は
社会の変遷の必然

一方で 学業場面に個性が表れ 多様なポータブルスキルが発揮されています

全学生共通の避けられない環境に変化

- ・124単位の取得
- ・4年間で約1600～2000時間の授業出席＋予復習



個人の価値観・行動特性(学ポタ)が表れる

- ・学業場面での意図・目標
- ・授業の選択方法
- ・授業中の時間の使い方
- ・単位取得・成績へのこだわり
- ・テスト対策法
- 等々

(参考)25卒生で確認済み

順位	学業に表れている長所・強み	学生選択率
1	単位を落とさないなど、自分なりに決めたことはなんとか達成させる目標達成力がある	47.7%
2	学業外と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う	41.8%
3	テスト対策やレポート準備などで、なんでも計画的に進める計画力・着実性があるほうだと思う	41.3%
4	GPAや特定科目の成績など、なんらかの目標を作って取り組むタイプで目標志向だと思う	33.9%
5	興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛だと思う	31.0%
6	単位の取得、勉強量に比べての成績など、目標に向かって効率的に動くことが得意だと思う	28.6%
7	必要なら地道な努力も厭わなく行動できるタイプなので、学業も一定以上の成果である	28.1%
8	グループワークなど他の人の意見をうまく引き出す協調性や傾聴力は高い方だと思う	27.2%
9	授業を聞いて理解する力・考える力・記憶する力等の知的能力は高い方だと思う	18.4%
10	テスト対策など友人や先生などの周りの協力を引き出す関係構築力は高いと思う	17.7%
11	グループワークでは自然と取りまとめ役になることが多く、リーダーシップがあるのだと思う	15.8%
12	研究室(ゼミ)配属に有利になるなど自分にメリットがあると感じた時には必ず成果を出せる集中力がある	11.4%
13	学業での行動を振り返って、当事者意識が高いあるいは責任感があるほうだと思う	9.6%
14	他学科の授業取得など他の人があまりしないようなことでも取り組んでみるチャレンジ精神は高いと思う	9.5%
15	レポートや小論文等で他者と違う観点や提案など創造性・独創性があるほうだと思う	7.9%
16	つまらない授業でも面白味や意義をみつけられ、置かれた環境をポジティブにとらえられる	6.4%
17	授業後の質問や他学科の授業取得など必要だと感じた場面での行動力・積極性はあると思う	6.0%
18	毎日1時間の復習など自分でルーIALIZEDしたことをやり続ける継続力があると思う	2.2%
19	上記以外の長所・強みがある	0.2%

2024年4月実施の25卒学生600名に対する自社アンケート

出席管理が緩い1990年代後半
全学生共通の質問の必要性が高まり
ガクチカ・自己PRが普及

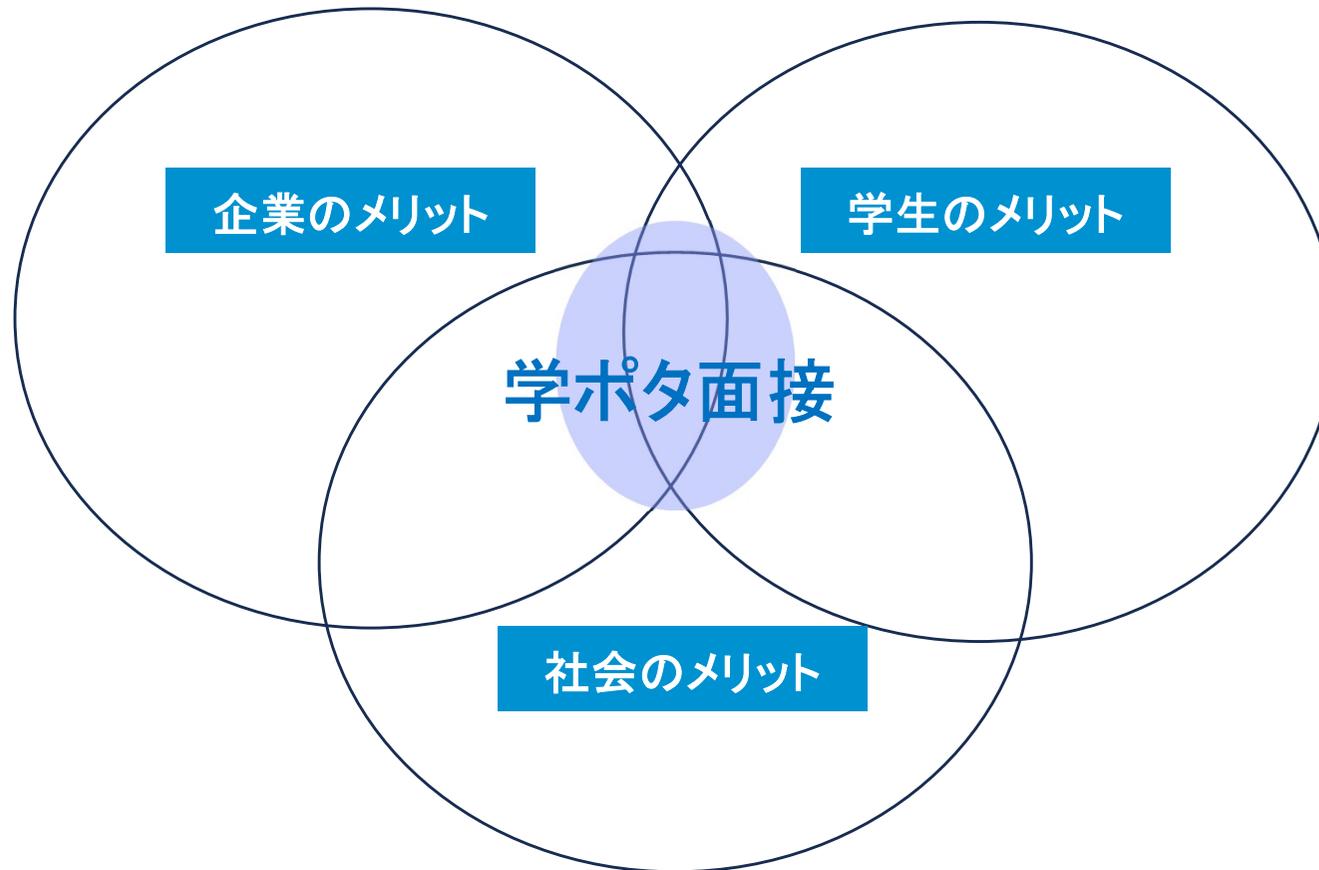
エピソードの重要性から脚色は拡がり
生成AIにより客観的事実のない面接は意味がなくなり
新たな面接法が必要になった

一方、出席の厳正化で学業場面に
多様な個性が表れていることが確認されている

学ポタ面接の効果

学ポタ面接は企業にも学生にも社会にもメリットがある質問法です

学ポタ面接は企業にとってメリットがあることは当然ですが、同時に学生にとって好ましく、メリットもある質問です。また政府から出されている「就職・採用活動に関する要請」とも整合する質問法なので採用場面で定着しやすい質問法です。



脚色ではない真の人物が分かります (帳票の見方は30ページ参照)

学生は学ポタ履修表を基に学ポタの根拠を説明します。面接官は相対的レベルも分かる客観情報で確認できるので、説明の真偽やレベルの判断が簡単になります。説明を客観事実で確認するのは日常の会議や仕事場面と同じなので面接官にとって楽な面接法です。



学ポタの根拠説明例

私は実行力があると思います。難易度の高い専門科目の授業が20単位ありました。10番から19番の授業がそれです。その一つも落とさない人は6割くらいだと思いますが、そのすべてでSの評価を取ると決めて達成しました。

客観事実(履修履歴)で確認

#	講義名	評価	単位	#	講義名	評価	単位
1	総合教育セミナーS (Ⅱ類)	S	2.0	41	ドイツ語1a	B	2.0
2	社会学Ⅰ	S	2.0	42	経営史	B	2.0
3	社会学Ⅱ	S	2.0	43	ドイツ語1b	B	2.0
4	日本の政治	S	2.0	44	現代社会と医学Ⅱ	C	2.0
5	法学Ⅰ(憲法を含む)	S	2.0	45	Japanese business and Society	C	2.0
6	法学Ⅱ(憲法を含む)	S	2.0	46	情報通信政策Ⅱ	C	2.0
7	アカデミック・スキルズⅠ	S	2.0	47	国際競争のもとでの企業の成長戦略	C	2.0
8	アカデミック・スキルズⅡ	S	2.0	48	ドイツ語Ⅱa	履修=	0.0
9	演習リテラシー基礎	S	2.0	49	産業社会学Ⅱ	履修=	0.0
10	〈専〉経営会計	S	2.0	50	商業学Ⅱ	履修=	0.0
11	〈専〉管理会計	S	2.0	51	統計学Ⅰ	履修=	0.0
12	〈専〉マーケティング論時	S	2.0	52	管理会計Ⅰ	履修=	0.0
13	〈専〉国際経営	S	2.0	53	現代企業経営各論(会社と持続可能)	履修=	0.0
14	〈専〉経済学原典	S	2.0	54	ダイレクト・マーケティング論	履修=	0.0
15	〈専〉経営学原典	S	2.0	55	ジャーナリズム論Ⅰ	履修=	0.0
16	〈専〉経営戦略	S	2.0	56	産業史各論(比較小売業史)	履修=	0.0
17	〈専〉企業倫理	S	2.0	57			
18	〈専〉貿易実務	S	2.0	58			
19	〈専〉金融市場と政策	S	2.0	59			
20	私法基礎Ⅰ	A	2.0	60			
21	私法基礎Ⅱ	A	2.0	61			
22	経営学(憲法と規範)	A	2.0	62			
23	経営学(組織と管理)	A	2.0	63			
24	基本簿記と財務諸表の奥方	A	2.0	64			
25	商業学Ⅰ	A	2.0	65			
26	産業経済論a	A	2.0	66			
27	産業経済論b	A	2.0	67			
28	応用簿記	A	2.0	68			

「*」のついている授業はS評価が上位30%以下

「資質(ポータブルスキル)確認」が簡単です

ガクチカが一般的になり、学生は頑張ったことをアピールしがちです。面接官も頑張ったこと聞き、第一印象やコミュカで判断しがちです。学ポタ面接は学生が選んだポータブルスキルとその根拠を説明させるので、確認すべき資質が直接わかります

学生が伝えること

頑張ったこと・アピールできること

- ・100人のサークルの幹事長
- ・居酒屋のアルバイトで副店長
- ・短期インターンで30人中1位
- ・1年間の海外留学経験



面接で確認しがちなこと

頑張ったレベル・確認しやすい資質

- ・サークルで活躍した
- ・アルバイトで業績挙げた
- ・説明が分かりやすい
- ・話しやすく印象が良い
- ・人当たりが良さそう



企業が本来知りたいこと

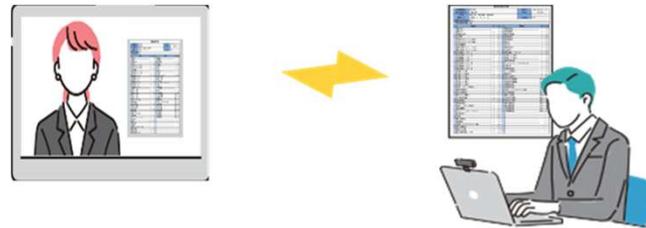
学ポタ履修表

送付情報1	0020125	送付日付	2021/05/11 11:32						
送付情報2	利尚三郎	卒業年	2019年						
大学名	明治大学 経営学部 経営学科								
確認したいのは 資質(ポータブルスキル)									
<ul style="list-style-type: none"> ・実行力 ・主体性 ・効率性 ・タフさ 									
履修履歴									
14	初級ドイツ語Ⅰ	S	1.0	*	55	経済学B	0	2.0	*
15	初級ドイツ語Ⅱ	S	1.0	*	56	西洋文化史A	0	2.0	*
16	初級ドイツ語Ⅲ	S	1.0	*	57	外国専門書読解	履修中	0.0	*
17	初級ドイツ語Ⅳ	S	1.0	*	58	外国専門書読解	履修中	0.0	*
18	初級ドイツ語Ⅴ	S	1.0	*	59	国際経営論A	履修中	0.0	*
19	初級ドイツ語Ⅵ	S	1.0	*	60	国際経営論B	履修中	0.0	*
20	初級ドイツ語Ⅶ	S	1.0	*	61	保険リスクマネジメント論B	履修中	0.0	*
21	初級ドイツ語Ⅷ	S	1.0	*	62	会計情報論	履修中	0.0	*
22	初級ドイツ語Ⅸ	S	1.0	*	63	経営分析論	履修中	0.0	*
23	初級ドイツ語Ⅹ	S	1.0	*	64	経営分析論	履修中	0.0	*
24	初級ドイツ語Ⅺ	S	1.0	*	65	経営分析論	履修中	0.0	*
25	初級ドイツ語Ⅻ	S	1.0	*	66	経営分析論	履修中	0.0	*
26	初級ドイツ語Ⅼ	S	1.0	*	67	経営分析論	履修中	0.0	*
27	初級ドイツ語Ⅽ	S	1.0	*	68	経営分析論	履修中	0.0	*
28	初級ドイツ語Ⅾ	S	1.0	*	69	経営分析論	履修中	0.0	*
29	初級ドイツ語Ⅿ	S	1.0	*	70	経営分析論	履修中	0.0	*
30	初級ドイツ語ⅰ	S	1.0	*	71	経営分析論	履修中	0.0	*
31	初級ドイツ語ⅱ	S	1.0	*	72	経営分析論	履修中	0.0	*
32	初級ドイツ語ⅲ	S	1.0	*	73	経営分析論	履修中	0.0	*
33	初級ドイツ語ⅴ	S	1.0	*	74	経営分析論	履修中	0.0	*
34	初級ドイツ語ⅵ	S	1.0	*	75	経営分析論	履修中	0.0	*
35	初級ドイツ語ⅶ	S	1.0	*	76	経営分析論	履修中	0.0	*
36	初級ドイツ語ⅷ	S	1.0	*	77	経営分析論	履修中	0.0	*
37	初級ドイツ語ⅸ	S	1.0	*	78	経営分析論	履修中	0.0	*
38	初級ドイツ語ⅹ	S	1.0	*	79	経営分析論	履修中	0.0	*
39	初級ドイツ語ⅺ	S	1.0	*	80	経営分析論	履修中	0.0	*
40	初級ドイツ語ⅻ	S	1.0	*	81	経営分析論	履修中	0.0	*
41	初級ドイツ語ⅼ	S	1.0	*	82	経営分析論	履修中	0.0	*
42	初級ドイツ語ⅽ	S	1.0	*	83	経営分析論	履修中	0.0	*
43	初級ドイツ語ⅾ	S	1.0	*	84	経営分析論	履修中	0.0	*
44	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	85	経営分析論	履修中	0.0	*
45	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	86	経営分析論	履修中	0.0	*
46	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	87	経営分析論	履修中	0.0	*
47	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	88	経営分析論	履修中	0.0	*
48	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	89	経営分析論	履修中	0.0	*
49	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	90	経営分析論	履修中	0.0	*
50	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	91	経営分析論	履修中	0.0	*
51	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	92	経営分析論	履修中	0.0	*
52	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	93	経営分析論	履修中	0.0	*
53	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	94	経営分析論	履修中	0.0	*
54	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	95	経営分析論	履修中	0.0	*
55	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	96	経営分析論	履修中	0.0	*
56	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	97	経営分析論	履修中	0.0	*
57	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	98	経営分析論	履修中	0.0	*
58	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	99	経営分析論	履修中	0.0	*
59	初級ドイツ語ⅿ	S	1.0	*	100	経営分析論	履修中	0.0	*

ポータブルスキルが記載され
その根拠を説明させるだけで簡単

社会人に必須の考え方・行動特性が分かります

多くの場合 課外活動は「したいこと」です。出席の厳正化により学業場面は「しなければいけない・避けられないこと」です。そこに出やすい資質には違いがあります。仕事場面では「したいことで発揮される積極性や主体性」よりも「しなくてはいけない場面でも発揮される積極性や主体性」が必要です。この「置かれた環境で発揮されるポジティブさ」は新卒には必須の資質です。



課外活動

自身が選択した好きなこと、したいこと

出やすい資質

- モチベーションが高い場面での資質
- 好きな環境の選び方

学業活動

しなければならぬ、避けられない場面

出やすい資質

- 自分でモチベーションを高められる資質
- 置かれた環境の捉え方(ポジティブさ)

したいことには積極的
自分で選択したときは主体的

しなくてはならない場面でも積極的
置かれた環境で主体的

仕事での必要度

置かれた環境でのポジティブさが新卒には必須

面接で志望度(歩留まり)が向上します

「日常の学業場面に着目する」また「学ポタ履修表を互いに見ながら面接する」など、質問及び形式が従来の面接を違うことは学生の記憶に残ります。その違いは学生の声から明確です。また学ポタを確認する意図を伝えることで企業への信頼感が高まることも確認されています。それによって歩留まりと志望度を高めることができます。



学生の声

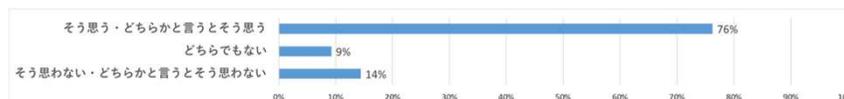
・現在の大学環境を知っている企業だと感じたので時代の変化にも柔軟に適應する企業だと感じた

・口で言うだけでなく、本当に社員の良さを多面的に見てくれるのだと思った

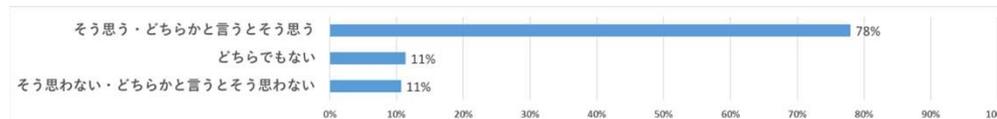
・客観的な事実を大事にして判断する会社だと感じ信頼できる

履修DB-αを使う企業に以下の意図を感じますか？(25卒就活生 約600人へのアンケート)

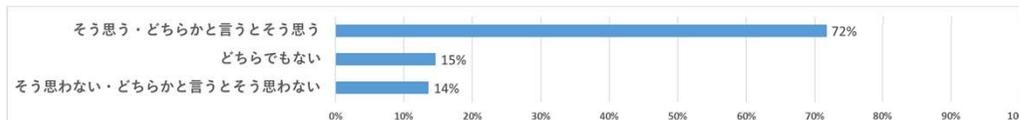
①学業活動での考え・行動に企業が着目することが、大学生が学業に力を入れやすい社会にできると思うから



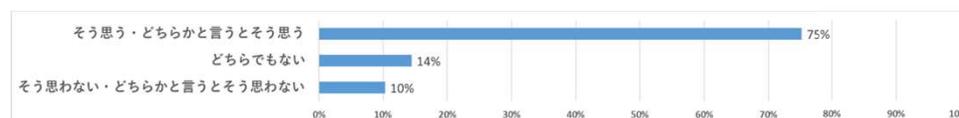
②課外活動で発揮した資質とは違う学業場面だから発揮できた多様で多面的な資質を知りたいと考えているから



③学業場面での考え・行動を知るには、皆さんが思い出して振り返りやすく、事実を使って説明できるようにするため



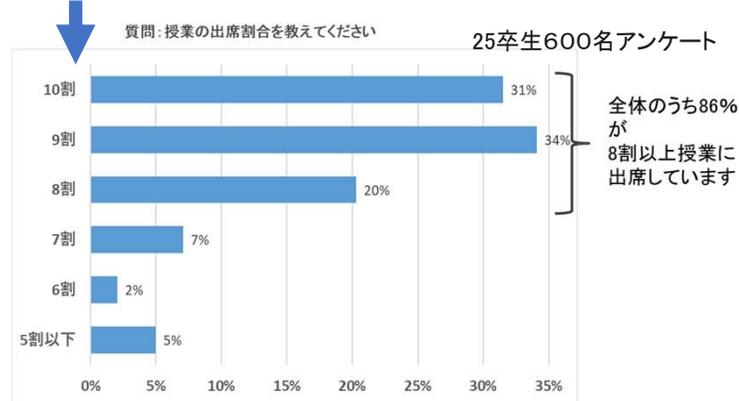
④客観的な事実を有効に活用することが、面接官の印象による不公平な面接の防止に役立つと考えるから



学生が望んでいる面接法です

授業出席の厳正化によって大学生生活の最も長い時間が日常の学業場面になりました。学業は全学生共通の長時間・長期間の活動になりました。そこには必ず本人の価値観や行動特性が表れます。その結果「勉強を頑張ったわけではない人」にとっても学ポタの確認は現在の学生にとって好まれる面接であることが確認されています。

出席は当たり前になっている



学業場面に個性が表れている

学業は全学生共通の避けられない環境に変化

- ・124単位の取得
- ・4年間で約1600～2000時間の授業出席

そこに表れる個人の価値観・行動特性

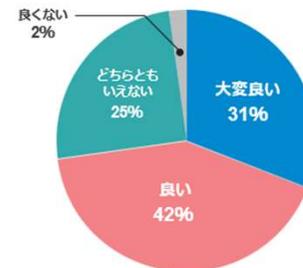
- ・学業場面での意図・目標
- ・授業の選択方法
- ・授業中の時間の使い方
- ・単位取得・成績へのこだわり
- ・テスト対策法
- 等々

学業での考え・行動の質問は望ましい

面接で学業での意図や行動に表れている特徴や長所も質問して欲しいですか？



上記のような学業での特徴や長所について積極的に質問する企業の印象はどうか？



学生に負荷をかけない面接法です

ガクチカ等の質問はきちんと準備をしておく必要があります。すべて口頭で説明をするのでストーリーや話術によっても大きく印象が変わりがちです。一方学ポタは選択肢から選ぶだけなので簡単に自分の学ポタを発見できます。面接の際も帳票から具体的に行動を思い出せます。また授業名や単位数・成績なので具体的事実を使って説明できるので 学生に準備や練習などの負荷をかけない面接法です。

A	単位を落とさないなど、自分なりに決めたことはなんとか達成させる目標達成力がある
B	課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う
C	テスト対策やレポート準備などで、なんでも計画的に進める計画力・着実性があるほうだと思う
D	GPAや特定科目の成績など、なんらかの目標を作って取り組むタイプで目標志向だと思う
E	興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛だと思う
F	単位の取得、勉強量に比べての成績など、目標に向かって効率的に動くことが得意だと思う
G	必要なら地道な努力も厭わなく行動できるタイプなので、学業も一定以上の成果である
H	グループワークなど他の人の意見をうまく引き出す協調性や傾聴力は高い方だと思う
I	授業を聞いて理解する力・考える力・記憶する力等の知的能力は高い方だと思う
J	テスト対策など友人や先生などの周りの協力を引きだす関係構築力は高いと思う
K	上記以外の長所・強みがある

↑
選択肢なので30秒で選べる



履修履歴表

送付者情報1	50001043	送付日付	2022/2/15
送付者情報2	利根五部	卒業予定時期	2023年
大学名	明治大学 商学部 商学科		
評価方式	4段階 (S、A、B、C)	学校区分	大学
取得済単位数	112.0		
卒業必要単位数	126.0		

#	講義名	評価	単位数	#	講義名	評価	単位数
1	社会学1	S	2.0	41	広告論	B	2.0
2	社会学2	S	2.0	42	外資産業論	B	2.0
3	経済学基礎1	S	2.0	43	経営情報学	B	2.0
4	経済学基礎2	S	2.0	44	物流産業論	C	2.0
5	経済学1	S	2.0	45	国際取引法1	C	2.0
6	民法基礎1	S	2.0	46	国際取引法2	C	2.0
7	民法基礎2	S	2.0	47	微積分1	C	2.0
8	経営学 (組織と戦略)	S	2.0	48	微積分2	C	2.0
9	経営学 (組織と管理)	S	2.0	49	心理学	C	2.0
10	基本簿記と財務諸表の見方	S	2.0	50	商業経営論	履修中	0.0
11	アジア地域での平和構築	S	2.0	51	産業組織論	履修中	0.0
12	ダイレクト・マーケティング論	S	2.0	52	経営戦略論1	履修中	0.0
13	ジャーナリズム論1	S	2.0	53	経営戦略論2	履修中	0.0
14	産業社会学2	S	2.0	54	国際経営論1	履修中	0.0
15	商業学2	S	2.0	55	国際経営論2	履修中	0.0
16	経営学	S	2.0	56	商業総論	履修中	0.0
17	貿易論1	S	2.0	57			
18	貿易論2	S	2.0	58			
19	商業学1	A	2.0	59			
20	産業経済論a	A	2.0	60			
21	産業経済論b	A	2.0	61			
22	応用簿記	A	2.0	62			
23	英語リスニング1	A	2.0	63			
24	英語リスニング2	A	2.0	64			
25	英語ライティング1	A	2.0	65			
26	英語ライティング2	A	2.0	66			
27	現代社会と医学2	A	2.0	67			
28	情報通信政策2	A	2.0	68			
29	ドイツ語1	A	2.0	69			
30	体育実技A	B	2.0	70			
31	体育実技B	B	2.0	71			
32	マーケティング・マネジメント論	B	2.0	72			
33	現代企業経営論 (組織文化論)	B	2.0	73			
34	産業社会学1	B	2.0	74			
35	管理会計論1	B	2.0	75			
36	現代企業経営論	B	2.0	76			
37	産業安全論	B	2.0	77			
38	ドイツ語2	B	2.0	78			
39	自然科学概論	B	2.0	79			
40	地域活性化システム論	B	2.0	80			

本人がアドバイザーしたい授業履修で検索しているデータ

- フィットシティ・ラフマ：学業外と学業の両方に力を
- 知的好奇心旺盛：興味を持つ範囲が広い、あるいは「知的好奇心は旺盛だ」と思う
- その他のデータは省略

学ポタ

面接では履修履歴をみて根拠を思い出して
事実を使って説明できる

新たな長所を気づかせる面接法です

「効率的に単位をとれる」など、学業を頑張ったわけではない学生にも必ず学ポタがあることが確認されています。また多くの学生が学業場面の行動は自己分析していないので、学ポタを選択するだけで新たな長所を発見できることが分かっています。また面接で新たに発見した長所を褒められることも学生の気づきや自信になります。

頑張っていない学生も必ず見つかる



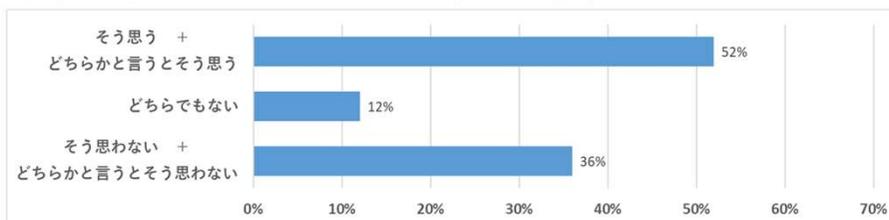
それを認めてもらえる

A	目標達成力・実行力 : 単位を落とさないなど、自分なりに決めたことは達成させる目標達成力はある方だと思う	47.0%
B	バイタリティ・タフさ: 課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う	41.7%
C	計画性・着実性 : テスト対策やレポート準備などで、計画的に進める計画力・着実性がある方だと思う	40.8%
D	目標設定力・目標志向: GPAや特定科目の成績など、自分なりの目標を作って取り組むタイプで目標志向だと思う	33.6%
E	知的好奇心旺盛 : 興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛な方だと思う	30.8%
F	効率性・能率性 : 単位の取得や勉強量に比べて成績など、効率的に結果をだせる力は比較的高い方だと思う	28.2%
G	忍耐力・粘り強さ : 好きなことでなくても必要なら地道な努力を厭わないので、自分なりに納得できる成果を残せる	27.5%
H	傾聴力・コミユカ : グループワークなどで他の人の意見をうまく引き出すなど、傾聴力やコミユカは高い方だと思う	27.2%
I	知的能力・地頭 : 授業等で理解する力・考える力・記憶する力・関連付ける力等の知的能力は比較的高い方だと思う	18.2%
J	関係構築力 : テスト対策など友人や先生などの周りの協力を引きだす関係構築力は比較的高い方だと思う	17.6%

力を入れていないのにこんなに単位を落とさないのはすごい
興味もった時の発揮される知的好奇心は仕事で生きるよ
実はこの授業でSは上位30%以内しかいないよ

自分では気づいていなかった長所が発見できる

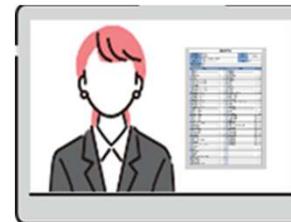
質問: その長所は、自己PRやガクチカで伝えてきた長所とは違う長所ですか?



学業への意欲が高める面接法です

学ポタはポータブルスキルなので学業場面での意図や行動によって「数多くの学ポタ」を保有することもできます。また「学ポタのレベル」を上げることも可能です。企業が学ポタ面接をすることで「多くの学ポタを持ち、そのレベルを高めること」が就活にも良い影響することが分かれば、日本の大学生は低学年時より学業にも力を入れやすい環境が整います。

A	単位を落とさないなど、自分なりに決めたことはなんとか達成させる目標達成力がある
B	課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う
C	テスト対策やレポート準備などで、なんでも計画的に進める計画力・着実性があるほうだと思う
D	GPAや特定科目の成績など、なんらかの目標を作って取り組むタイプで目標志向だと思う
E	興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛だと思う
F	単位の取得、勉強量に比べての成績など、目標に向かって効率的に動くことが得意だと思う
G	必要なら地道な努力も厭わなく行動できるタイプなので、学業も一定以上の成果である
H	グループワークなど他の人の意見をうまく引き出す協調性や傾聴力は高い方だと思う
I	授業を聞いて理解する力・考える力・記憶する力等の知的能力は高い方だと思う
J	テスト対策など友人や先生などの周りの協力を引きだす関係構築力は高いと思う
K	上記以外の長所・強みがある



↑ **多くの学ポタを持った方が就活に有利**

↓ **学ポタのレベルを上げた方が就活に有利**

とてもすごい	すごい	まあまあすごい
専門科目の授業が20単位ありました。その一つも落とさない人は6割くらいだと思いますが、そのすべてでS評価を取ると決めて達成しました	少なくとも絶対に単位を落とさない決め、必要な出席や、期限内でのレポートの提出など、少なくとも単位が取得できるように計算して、単位を落としたことはないので取得単位数は他の人より多い。	ゼミの担当教授に授業は絶対の単位を落とせないで、その授業に関しては、出席はもちろんテスト対策も万全にして単位を取得できた

過去の行動をエピソード確認だけで判断できなくなった現在では、何らかの補完が必要です。学ポタ面接は面接官にとって簡単で、志望度・歩留まりの向上が図れ、学生にも社会にもメリットがあります。これを従来の面接に付け加えることは社会の流れになると思われます。

企業のメリット

脚色でない真の人物が分かります
資質の確認が簡単です
社会人に必須の資質が分かります
志望度（歩留まり）が向上します

学生のメリット

学生が望んでいる面接法です
学生に負担をかけない面接法です
新たな長所を気づける面接法です

社会のメリット

学業への意欲が高める面接法です

27卒採用後半で学ポタ面接の有無が企業イメージに影響します

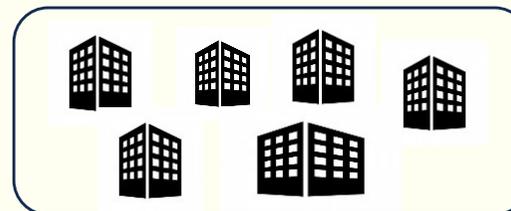
履修DB-αの利用はすでに600社です。それらの企業の依頼で最低20万人の学生が登録時に学ポタを認識します。利用企業は面接時には学ポタ確認の意図を学生にアピールします。27卒採用前半では学ポタの認知度は低くても入社企業を決定する27卒採用後半において学ポタ確認の有無が採用成果に大きく関係します。

27卒採用前半～中半

①最低20万人が学ポタを認識



②600～1000社の企業が利用意図を説明しアピール



選考を通して影響



面接時：自社をアピール

- ・多面的な長所を引き出す企業
- ・時代に合わせて柔軟に適應する企業
- ・客観情報を重要視する公正な企業
- ・社会貢献を意識する企業

27卒採用後半

③就活生全体が学ポタ確認をする企業の意図を理解



入社先決定に影響する可能性

- ・時代変化に適應できる会社は学業に着目する
- ・人を多面的に見る企業は学業にも着目する
- ・社会貢献意思の高い会社は学業着目する

面接手順

➤ 手順は非常に簡単で以下の3つのステップで行う

ステップ

- ① 準備：面接時に面接官と学生の双方が学ポタ履修表を手元に準備する
- ② 確認：学ポタについて根拠を説明させて客観的事実を参考に確認する
- ③ 評価：学ポタレベルの評価する

通常の質問に加えて最低一つの学ポタの確認をしてください(所要時間5分～10分)

* 客観的事実があるので質問を追加しても面接時間は減少する傾向があります

➤ 面接時に面接官と学生の双方が学ポタ履修表を手元に用意します

学生 : 履修DB-αから帳票をダウンロード

面接官 : 履修DB-αまたは自動連携しているATSから帳票をダウンロード

対面・オンライン問わず利用が可能

対面面接



オンライン面接



※帳票は手元に用意するため、画面共有する必要はなく、グループ面接でも使用可能

➤ 学ポタについて根拠を説明させて客観的事実を参考に確認します

- 帳票下部の学ポタの根拠を説明させて、履修履歴や単位数、GPAなどの客観的事実を参考に確認する

30	微積分Ⅱ	A	2.0					
31	英語リーディングⅡa(中級)	A	2.0					
32	マーケティング・マネジメント論	A	2.0					
33	ドイツ語Ⅱa	A	2.0					
34	産業社会学Ⅱ	A	2.0					
35	商業学Ⅱ	A	2.0					

本人がアピールしたい学業場面で発揮しているポータブルスキル

- バイタリティ・タフさ：学業外と学業の両方に力をいれ、他の人に比べてバイタリティがあると思う
- 知的好奇心旺盛：興味を持つ範囲が広い、あるいは興味を持ったことは深めるなど知的好奇心は旺盛だと思う
- その他のポータブルスキル

- 複数学ポタがある場合は以下の中から選択するのがおすすめ

※もちろん複数の学ポタを確認しても問題ありません

「学生が最もアピールしたい学ポタ」

「面接官が最も気になる学ポタ」

「課外活動で発揮したポータブルスキルとは違う学ポタ」

- 具体的な授業については、番号と授業名を言ってもらうと理解しやすい

「32番のマーケティング・マネジメント論は、テストが難しく、過去問を・・・」

➤ 選んだ学ポタの根拠を説明してもらいます

具体的質問例

- ・〇〇さんが選んだ学ポタのうちで最もアピールしたい学ポタの根拠を、学ポタ履修表を使いながら説明して下さい。授業名を言う際には、先に授業の番号を言ってもらえると確認しやすいです。
- ・「知的好奇心旺盛」を登録していますが、それが強みだと思える具体的な根拠を教えてください。
- ・選んでくれた学ポタのうち、自己PR(ガクチカ)とは異なる学ポタはどれですか？
それを選んだ具体的な理由を教えてくださいませんか？

具体的な行動を通して、本人の資質を確認します(ガクチカ・自己PRと同様です)

- ・そのために 具体的な行動・成果を確認する
- ・困難だった点、他の人より秀でていと感じる点を確認する
- ・それをしようとした意図や背景を確認する
- ・(必要なら)同じ学ポタを発揮した他の場面を確認する

➤ 評価は取得単位数やGPA平均との比較、あるいは該当する授業の数など客観的事実から判断します

インプットしておくべき相対レベルの評価

- GPA: 本人GPAが学部平均GPAより0.5以上高い場合は上位1割に入っている可能性が高い
逆に、0.5以上低い場合、下位1割に入っている可能性が高い
- 評価分散マーク: 厳正な評価をしている可能性の高い講義には「*」がつく
具体的には最高評価(下記例ではA+)が上位30%以下かつ最低評価(C)が付いている
10~30%いる講義(4段階の場合)

学ポタ履修表

送信者情報 1		ds002032	送信日付		2018/6/10 12:12				
送信者情報 2		小島五郎	卒業予定時期		2019年				
大学名		早稲田大学 商学部 学科なし							
評価方式		4段階 (A+, A, B, C)	学校区分		大学				
取得済み単位数	94.0	GPA	2.8	最高評価率	21.3%				
卒業必要単位数	128.0	(前年度学部平均)	(2.6)	(前年度学部平均)	(18.2%)				
				最低評価率	8.5%				
				(前年度学部平均)	(10.2%)				
#	講義名	評価	単位数	履修済	#	講義名	評価	単位数	履修済
1	総合教育セミナーS (Ⅱ類)	A+	2.0		41	ドイツ語 Ia	B	2.0	
2	社会学Ⅰ	A+	2.0	*	42	経営史	B	2.0	*
3	社会学Ⅱ	A+	2.0	*	43	ドイツ語Ⅰb	B	2.0	*
4	日本の政治	A+	2.0		44	現代社会と医学Ⅱ	C	2.0	*
5	法学Ⅰ (憲法を含む)	A+	2.0	*	45	Japanese business and Society	C	2.0	
6	法学Ⅱ (憲法を含む)	A+	2.0	*	46	情報通信政策Ⅱ	C	2.0	*
7	アカデミック・スキルズⅠ	A+	2.0		47	国際競争のもとでの企業の成長戦略	C	2.0	
8	アカデミック・スキルズⅡ	A+	2.0		48	ドイツ語Ⅱa	履修中	0.0	
9	情報リテラシー基礎	A+	2.0		49	産業社会学Ⅱ	履修中	0.0	
10	英語コミュニケーションⅠa (準上)	A+	2.0	*	50	商業学Ⅱ	履修中	0.0	*
11	英語コミュニケーションⅠb (準上)	A	2.0	*	51	統計学Ⅰ	履修中	0.0	
12	線形代数	A	2.0	*	52	管理会計論Ⅰ	履修中	0.0	
13	体育実技A (エアロビクス)	A	2.0		53	現代企業経営各論 (会社と持続可能)	履修中	0.0	*
14	英語リーディングⅠa (中級)	A	2.0		54	ダイレクト・マーケティング論	履修中	0.0	
15	ドイツ語Ⅳb	A	2.0		55	ジャーナリズム論Ⅰ	履修中	0.0	
16	経済学基礎Ⅰ	A	2.0		56	産業史各論 (比較小売業史)	履修中	0.0	
17	経済学基礎Ⅱ	A	2.0		57				
18	統計学Ⅱ	A	2.0	*	58				
19	経済史Ⅰ	A	2.0	*	59				
20	私法基礎Ⅰ	A	2.0		60				
21	私法基礎Ⅱ	A	2.0		61				
22	経営学 (環境と戦略)	A	2.0	*	62				
23	経営学 (組織と管理)	A	2.0	*	63				
24	基本簿記と財務諸表の見方	A	2.0		64				
25	商業学Ⅰ	A	2.0		65				
26	産業経済論a	A	2.0		66				
27	産業経済論b	A	2.0		67				

本人評価

学部平均

卒業必要単位数
現在取得済み単位数

評価分散マーク

➤ 評価は取得単位数やGPA平均との比較、あるいは該当する授業の数など客観的事実から判断する

例) 目標達成力・実行力

単位を落とさないなど、自分なりに決めたことは達成させる目標達成力はある方だと思う

ハイレベル

難易度の高い専門科目の授業が10単位ありました。**10番から19番の授業**がそれです。その一つも落とさない人は6割くらいだと思いますが、そのすべてで**Sの評価**を取ると決めて達成しました。

ミドルレベル

少なくとも絶対に単位を落とさないと決め、必要な出席や、期限内でのレポートの提出など、少なくとも単位が取得できるように計算して、単位を落としたことはない**ので取得単位数は他の人より多い**と思います。

ベーシックレベル

42番と44番の授業がゼミの担当教授の授業ですが、その授業は絶対に単位を落とせない**ので、その授業に関しては、出席はもちろんテスト対策も万全にして単位を取得**できました。

№	授業名	評価	単位数	備考	№	授業名	評価	単位数	備考
1	総合教育セミナーS (Ⅰ)	S	2.0		41	ドイツ語 I a	B	2.0	
2	社会学 I	S	2.0		42	経営学	B	2.0	
3	社会学 II	S	2.0		43	ドイツ語 I b	B	2.0	
4	日本の政治	S	2.0		44	現代社会と憲法 II	C	2.0	
5	法學 I (憲法を含む)	S	2.0		45	Japanese business and Society	C	2.0	
6	法學 II (憲法を含む)	S	2.0		46	情報通信政策 II	C	2.0	
7	アカデミック・スキルズ I	S	2.0		47	国際競争のもとでの企業の成長戦略	C	2.0	
8	アカデミック・スキルズ II	S	2.0		48	ドイツ語 II a	C	2.0	
9	水曜リサーチ・セミナー	S	2.0		49	産業社会学	C	2.0	
10	(専) 財源論 I	S	2.0		50	商業学 II	C	2.0	
11	(専) 財源論 II	S	2.0		51	経済学 I	C	2.0	
12	(専) マーケティング論 I	S	2.0		52	管理会計 I	C	2.0	
13	(専) 国際経営	S	2.0		53	別科企業経営論 (会社と特許)	C	2.0	
14	(専) 経済学 I	S	2.0		54	マイクロ・マーケティング I	C	2.0	
15	(専) 経済学 II	S	2.0		55	ジャーナリズム論 I	C	2.0	
16	(専) 経営戦略	S	2.0		56	産業学各論 (上級小企業)	C	2.0	
17	(専) 企業倫理	S	2.0		57				
18	(専) 経営学	S	2.0		58				
19	(専) 企業市場と産業	S	2.0		59				
20	私法基礎 I	A	2.0		60				
21	私法基礎 II	A	2.0		61				
22	経営学 (環境と戦略)	A	2.0		62				
23	経営学 (組織と管理)	A	2.0		63				
24	基本簿記と財務諸表の読解	A	2.0		64				
25	社会学 I	A	2.0		65				
26	応用経済学	A	2.0		66				
27	応用経済学 II	A	2.0		67				
28	応用簿記	A	2.0		68				

評価分散マーク(*)が付いているため、S評価は上位30%以上だということが分かる

№	授業名	評価	単位数	備考	№	授業名	評価	単位数	備考
1	総合教育セミナーS (Ⅰ)	A+	2.0		41	ドイツ語 I a	B	2.0	
2	社会学 I	A+	2.0		42	経営学	B	2.0	
3	社会学 II	A+	2.0		43	ドイツ語 I b	B	2.0	
4	日本の政治	A+	2.0		44	現代社会と憲法 II	C	2.0	
5	法學 I (憲法を含む)	A+	2.0		45	Japanese business and Society	C	2.0	
6	法學 II (憲法を含む)	A+	2.0		46	情報通信政策 II	C	2.0	
7	アカデミック・スキルズ I	A+	2.0		47	国際競争のもとでの企業の成長戦略	C	2.0	
8	アカデミック・スキルズ II	A+	2.0		48	ドイツ語 II a	C	2.0	
9	水曜リサーチ・セミナー	A+	2.0		49	産業社会学	C	2.0	
10	(専) 財源論 I	A+	2.0		50	商業学 II	C	2.0	
11	(専) 財源論 II	A+	2.0		51	経済学 I	C	2.0	
12	(専) マーケティング論 I	A+	2.0		52	管理会計 I	C	2.0	
13	(専) 国際経営	A+	2.0		53	別科企業経営論 (会社と特許)	C	2.0	
14	(専) 経済学 I	A+	2.0		54	マイクロ・マーケティング I	C	2.0	
15	(専) 経済学 II	A+	2.0		55	ジャーナリズム論 I	C	2.0	
16	(専) 経営戦略	A+	2.0		56	産業学各論 (上級小企業)	C	2.0	
17	(専) 企業倫理	A+	2.0		57				
18	(専) 経営学	A+	2.0		58				
19	(専) 企業市場と産業	A+	2.0		59				
20	私法基礎 I	A	2.0		60				
21	私法基礎 II	A	2.0		61				
22	経営学 (環境と戦略)	A	2.0		62				
23	経営学 (組織と管理)	A	2.0		63				
24	基本簿記と財務諸表の読解	A	2.0		64				
25	社会学 I	A	2.0		65				
26	応用経済学	A	2.0		66				
27	応用経済学 II	A	2.0		67				
28	応用簿記	A	2.0		68				

評価分散マーク(*)が付いていないため、授業の難易度は不明

帳票の科目名や成績から真偽・レベルをチェック



➤ 評価は取得単位数やGPA平均との比較、あるいは該当する授業の数など客観的事実から判断する

例) バイタリティ・タフさ

課外活動と学業の両方に力をいれ、他の人に比べて忙しいことが平気でバイタリティがあると思う

ハイレベル

半期あたり**25単位以上**を履修し、**平均GPAが3.6**(4段階中)以上を維持。さらに、ゼミ活動とアルバイトを週4日以上並行してこなし、いずれも高評価を得ている。

ミドルレベル

学内のプロジェクトに毎週3時間以上参加し、イベント企画や発表を担当。学業では**20単位を履修**し、各科目で**全てB以上**を取得。授業以外の時間もプロジェクトと学習の時間配分を工夫。

ベーシックレベル

毎学期**15~18単位**を履修し、**B~Cの成績**を維持。週末はサークル活動に参加し、平日は毎晩1時間の勉強時間を確保して、単位を着実に取得する。

送審者情報1	es002032	送審日付	2018/6/10 12:12				
送審者情報2	小島五郎	卒業予定時期	2019年				
大学名	〇〇大学 商学部 学科なし	学校区分	大学				
評価方式	4段階 (S, A, B, C)						
取得済み単位数	125.0	GPA	3.6	最高評価率	80.0%	最低評価率	0.0%
卒業必要単位数	128.0	(前年度学期平均)	(2.6)	(前年度学期平均)	(18.2%)	(前年度学期平均)	(10.2%)

送審者情報1	es002032	送審日付	2018/6/10 12:12				
送審者情報2	田中花子	卒業予定時期	2019年				
大学名	〇〇大学 法学部 学科なし	学校区分	大学				
評価方式	4段階 (S, A, B, C)						
取得済み単位数	100.0	GPA	2.3	最高評価率	15.0%	最低評価率	0.0%
卒業必要単位数	128.0	(前年度学期平均)	(2.6)	(前年度学期平均)	(18.2%)	(前年度学期平均)	(10.2%)

送審者情報1	es002032	送審日付	2018/6/10 12:12				
送審者情報2	佐藤太郎	卒業予定時期	2019年				
大学名	〇〇大学 経済学部 学科なし	学校区分	大学				
評価方式	4段階 (S, A, B, C)						
取得済み単位数	85.0	GPA	1.6	最高評価率	0.0%	最低評価率	40.0%
卒業必要単位数	128.0	(前年度学期平均)	(2.6)	(前年度学期平均)	(18.2%)	(前年度学期平均)	(10.2%)

帳票の取得単位数と
本人GPAから
真偽・レベルをチェック

導入までの流れ

➤ 1. 申し込み手続きをして利用開始

WEB上で申し込み手続きを行うと、アカウント情報がメールで届きます



➤ 2. 学生に提出を依頼して、履修データを収集

他の応募書類と同様に応募者に提出依頼をすると、学生から履修データが送信され、管理画面で閲覧が可能になります。また採用管理システム(ATS)と連携すると、ATS側にも即時に結果が反映されます。(AOL、SONAR、i-web、e2R)

採用管理システムとの連携の場合



ナビサイト等で連絡する場合



➤ 3. 学ポタ履修表を出力して面接に活用

学生は自分用の帳票を出力して面接に参加



面接資料として出力した帳票を面接官に共有



【参考】お申込み手続きから利用開始

※履修データセンターに直接お申込み頂く際の手続き方法です
販売代理店からの手続きは各代理店担当者様にご確認ください



ログイン画面の新規申し込みボタンから
手続きを開始します

履修履歴データベース 企業用(2026年 学生版)

ログイン

企業コード
ログインID
パスワード

ログイン クリア

新規・継続の利用申し込み

ご案内

こちらは履修履歴データベースの企業用のログイン画面です。
履修履歴データベースは応募者の大学等での履修履歴（大学等で取得した全講義名、単位数、成績評価）をデータ化・標準化してお届けするサービスです。登録には企業コード、ログインID、パスワードが必要ですので、お持ちでない企業はこの画面から「新規・継続の利用申し込み」をしてください。

[問い合わせ先] 株式会社履修データセンター カスタマーサポート
TEL: 03-6277-2774 メール: support@dscenter.co.jp
受付時間: 9:30~11:30 13:00~16:30 土日、祝日除く

「企業名」「担当者連絡先」「ご利用人数区分」を
選択して「申請」ボタンで手続き完了

履修履歴データベース お問い合わせ (平日9:30~11:30 13:00~16:30)
電話: 03-6277-2774
メール: support@dscenter.co.jp

登録申請

企業名(必須) ※金角でご入力ください。例) (株)履修データセンター

部署 ※金角でご入力ください。

担当者(必須) ※金角でご入力ください。

電話番号(必須) ※半角数字でご入力ください。

メールアドレス(必須) ※半角英数字でご入力ください。

郵便番号(必須) ※半角数字でご入力ください。

住所(必須) ※金角でご入力ください。 ※ログインIDの送信先、請求書送信先を入力してください。

ご利用人数(必須) 0~50人
※ 想定される利用データ数(利用者数) を申請してください。
※ 想定される利用データ数(利用者数) でご請求させていただきます。

申請 戻る

3営業日以内にメールでログイン情報が
届いて利用開始

履修履歴データベース

お客様ご契約・登録情報のご案内 (重要)

履修データセンター
中川 様

お客様ご契約・登録情報のご案内 (重要)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
この度は、履修履歴データベース(2026年卒業生用)のお申し込みをいただきまして誠にありがとうございます。お申込みいただきました内容での登録が完了いたしました。

下記の内容にてアクセス及びご利用いただくことができます。

企業名	履修データセンター
ご登録完了日	2024年5月8日
企業コード	u4z69x6w (※企業コードはすべて半角英数字です。)
ログインID	aARKMEYh
パスワード	*****
ご利用人数	0~50人
対象年度	2026 年度版

株式会社履修データセンター
TEL 03-6277-2774 (受付時間 平日9:30~11:30 13:00~16:30)
MAIL(support@dscenter.co.jp)

※ 「ログインID」「パスワード」の管理にご注意ください。
※ わかりやすい場所に保管することは漏洩のリスクにつながりますのでご注意ください。
※ 弊社社員がメールや電話等でパスワードを伺うことはありません。
※ パスワードを他人に教えることはトラブルの原因となるため、なさらぬようお願いいたします。

申し込み時に送信見込み人数でご利用の区分を選択していただき、
利用料を請求させていただきます。

区分	データ数 (送信人数)	料金 (税別)
1	0~50人	40,000円
2	51~200人	80,000円
3	201~500人	120,000円
4	501~1000人	160,000円
5	1,001~2,000人	190,000円
6	2,001~5,000人	240,000円
7	5,001~20,000人	330,000円
8	20,000人 ~	500,000円

【参考】 学生への提出依頼から学ポタ履修表出力のイメージ

➤ 依頼文のひな型をご用意しているので、お使いの連絡手段を用いて応募者に提出依頼を送ってください

履修履歴提出のお願い

●●●様

この度は当社へご応募頂きまして、誠にありがとうございます。

当社では、採用選考時に履修履歴を活用した面接を行います。
 「履修履歴データベース(2026年版)」を利用して弊社宛てに履修履歴を提出してください。
 (※履修履歴とは、大学等で取得した全科目名(履修中含む)・単位数・評価です)

提出期限： **〇月〇日**

【履修履歴提出の手順】

①右記URLより登録 <https://service.dscenter.co.jp/dss/student/login?year=2026>
 登録方法は右記マニュアルを参考にしてください <http://dscenter.co.jp/student/index.html>

②送信・印刷画面から下記の情報を入力し送信(提出)してください。

◇企業コード : **abcd9999**
 ◇送信者情報1 : **〇〇を入力してください**
 ◇送信者情報2 : **△△を入力してください**

履修履歴の登録・送信に関してご不明な点は、(株)履修データセンターHP「よくあるご質問」をご確認頂くか、
 学生サポート窓口 (student@dscenter.co.jp / 03-6272-2774 平日9:30~11:30 13:00~16:30) へ直接ご連絡ください。

ご提出をお待ちしておりますので、よろしくお願いたします。

学生は履修DB-αにログインして
貴社にデータを送信します



➤ 送信されたデータは即時に企業管理画面に反映され、出力ボタンで帳票やCSVデータを出力できます

検索結果: 2人 現在の送信人数は12人です

送信者情報1	内容	学校名	学部名	必要単位数	取得済単位数	GPA換算	最高評価率(%)	最低評価率(%)	評価分散	送信回数	送信者情報2	成績証明書
4 test1211	卒	茨城大学	人文学部	124.0	2.0	2.5	0.0	0.0	0000 0000	1		○
4 test1211	検	JMOOC		0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	1		
4 test1211	論	福島大学	テスト	0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	1		
5 test1212	卒	埼玉大学	経済学部	124.0	10.0	2.9	37.5	18.8	0000 0000	5		
5 test1212	卒	テスト大...	テスト学...	124.0	4.0	4.0	100.0	0.0	0000 0000	5		○
5 test1212	卒	東北大学	法学研究科	40.0	4.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	5		○
5 test1212	検	JMOOC		0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	4		
5 test1212	検	ああああ...		0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	4		
5 test1212	論	筑波大学	テスト学部	0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	4		
5 test1212	論	富山大学	ああああ...	0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	4		
5 test1212	論			0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000 0000	4		

※ 合否判定のみの講義はGPA換算、最高、最低評価率へは反映されません。
 ※ 「0000」は調査対象外を示します。

帳票(PDF)取得 CSV(詳細)取得 CSV(概要)取得 成績証明書(PDF)取得

Copyright © 2013 履修データセンター All Rights Reserved.

学ポタ履修表を出力して面接にご利用ください

CSVデータを出力して分析などにご活用ください



➤ 極めてシンプルな管理画面なので、マニュアルを見なくても直観的に操作が可能です

RDC 履修履歴データベース
お問い合わせ (9:30~11:30 13:00~16:30 土日除く)
電話 : 03-6272-3101 ID:rNWCGXn2 ログアウト
メール: support@dscenter.co.jp

履修データ一覧 | 履修データ検索 | 企業情報変更 | PDF名設定 | ID規則設定 | 受付期間設定 | 提出指定設定

履修データ一覧

通常検索 | 差分検索

履修履歴送信日 ~ 全期間を表示する。 ※画面表示は最大1000件です 検索

履修データ内容 卒業課程 検定・単科 論文

送信者情報1 送信者情報2 最終卒業年 全て

検索結果：2人 現在の送信人数は12人です

	送信者情報1	内容	学校名	学部名	必要 単位数	取得済 単位数	GPA 換算	最高 評価率 (%)	最低 評価率 (%)	評価分散		送信 回数	送信者情報2	成績 証明書
										単位数	GPA			
4	test1211	卒	茨城大学	人文学部	124.0	2.0	2.5	0.0	0.0	0000	0000	1		○
4	test1211	検	JMOOC		0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	1		
4	test1211	論	福島大学	テスト	0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	1		
5	test1212	卒	埼玉大学	経済学部	124.0	10.0	2.9	37.5	18.8	0000	0000	5		
5	test1212	卒	テスト大...	テスト学...	124.0	4.0	4.0	100.0	0.0	0000	0000	5		○
5	test1212	卒	東北大学	法学研究科	40.0	4.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	5		○
5	test1212	検	JMOOC		0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	4		
5	test1212	検	ああああ...		0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	4		
5	test1212	論	筑波大学	テスト学部	0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	4		
5	test1212	論	富山大学	ああああ...	0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	4		
5	test1212	論			0.0	0.0	0000	0.0	0.0	0000	0000	4		

※ 可否判定のみの講義はGPA換算、最高、最低評価率へは反映されません。
※ 「0000」は調査対象外を示します。

帳票(PDF)取得 | CSV(詳細)取得 | CSV(概要)取得 | 成績証明書(PDF)取得

各種検索で
対象を絞り込み

PDF帳票や
CSVデータを
出力

Copyright © 2013 履修データセンター All Rights Reserved.

【参考】ATS連携による利用のイメージ（画像はAOLの場合）

➤ ATS運営会社に連携の設定を依頼すると、応募学生のマイページに提出用ボタンが表示されます



※サービスによっては自分で設定する場合があります



弊社からお送りした通知書類に記載の「企業コード」等をATS運営会社に伝え連携の設定を依頼してください

マイページに履修データ提出ボタンが表示されます
学生はここから履修DB-αを開き、データを送信します

➤ ATS内の管理画面から帳票を出力できます



成績表

個人ID	10001	氏名	毎日	科名	科目名	科目ID	1/2
大学名	京都大学	総合人間学部	総合人間学部	学位	理学	理学	理学
所属学部	4000 (理、文、工、農、医)						理学部
所属学年	2025 / 126						履修年度: 23.6
履修年度	2025 / 126						履修年度: 23.6

帳票イメージ
※デザインは開発中のものです。
変更の可能性もありますのでご了承ください。

個人ID	10001	氏名	毎日	科名	科目名	科目ID	1/2
履修年度	2025 / 126						履修年度: 23.6
履修年度	2025 / 126						履修年度: 23.6

- ① TOP画面のアクションパレットから[PDF印刷]を選択し、〈実行〉をクリックします。
- ② 印刷形式の〈履修履歴(成績表)〉をクリックするとPDF印刷画面に進みます。

【参考】履修DB-α 学生の登録・送信のイメージ

➤ 1. アカウントを作成 (初めての利用時のみ。次回以降は自分で設定したIDでログインして利用します)

新規登録ボタンから開始



規約を読んで同意



希望のログインID等を指定して登録
※個人情報情報はメールアドレスだけ



➤ 2. 履修履歴、学ポタを登録 (1度登録すれば何社にも使いまわしてできます。新たな成績発表時は追加更新します)

学校・学部などを選択



履修講義名と成績評価を入力
※一括入力できるので所要時間は15分程度



自分に当てはまる学ポタを選択
※全学生必須



➤ 3. 「送信」操作で企業への提出が完了 (他社で登録済みの学生は1、2は飛ばしてこの「送信」のみで提出完了です)

企業コード等で送付先を指定して送信
※ATS連係の場合は自動入力



送信履歴は全て確認できて
学生閲覧用の帳票PDFも出力可能



出力

学生用学ポタ履修表

履修履歴表	
学ポタID	履修履歴
1	2024/05/09 11:38 送信
2	2024/05/11 15:13 送信
3	2024/06/17 10:25 送信

学生の手間は？

履修履歴はコピー＆ペーストにより15～30分程度で登録できますので、手間にはなりません。また、1度登録したデータは使いまわしができるため、成績証明書の提出を都度求められるより学生の利便性は高まります。また、学ポタも11個の選択肢から最大3つまでを選ぶだけなので、ほとんどの学生が1-2分程度で完了します。

応募数は減らないか？

上記の通り手間はかかりませんし、現在は学業での行動について質問して欲しいと考える学生が多いです。2015年のサービス開始時から、業界・規模に関わらず履修履歴提出の依頼により応募数が減ったとの報告は受けておりませんので安心してご利用ください。

正直に登録するのか？

履修履歴データベースの仕組み上、虚偽の申告をすることは可能ではありますが、学生の利用画面内やHPにおいて「基本的に入社前までに成績証明書の提出を求められる」旨を学生に伝えており、それによって虚偽申告の抑止となっております。これまでご利用の企業からは意図的な虚偽申告の報告は受けておりません。

面接時間が足りない

客観事実を参考にする面接は真偽判断のための深掘りが必要ないため、むしろ時間を短縮できます。実際に、すでにご利用いただいている企業から面接時間が減り面接官の負担も軽減されたという声もあります。

利用期間は？

ご利用開始時から卒業時までです。27卒版の履修DB-αの場合、サービスオープンの2025年5月以降、いつご利用開始していただいても2027年3月末までご利用いただけます。そのため、選考の早いタイミングからご利用いただく企業も多いです。